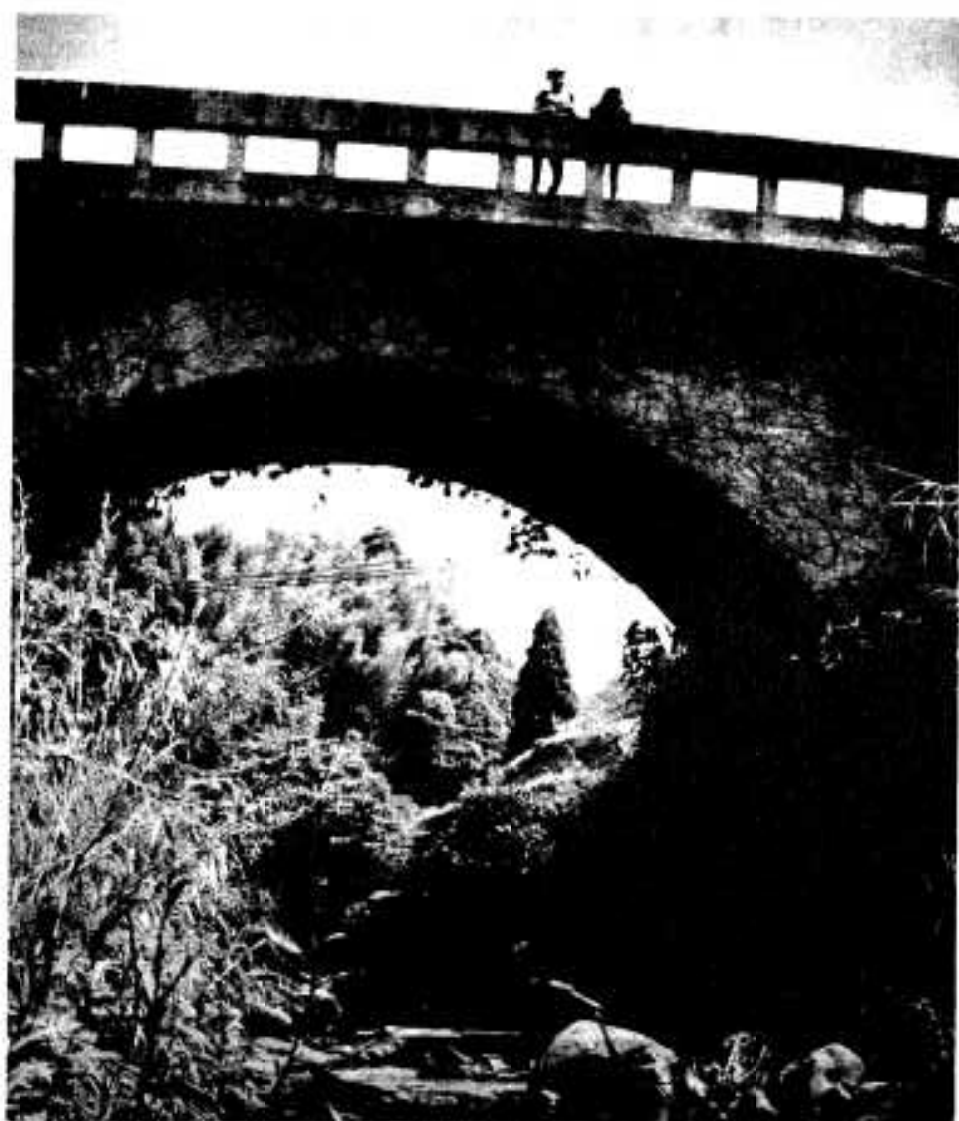




広報

あくね

阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数	
(6月1日現在)	
人口	29,590 (-20)
男	13,818 (-11)
女	15,772 (-9)
世帯数	9,786 (+6)



ディスプレイあくね

# 見直そうふるさと

## …尾崎の石橋…

尾崎区内を流れる池次郎川、山下川、有田川に架かる橋がそれぞれ「小橋」「尾崎橋」「有田橋」で、脚古、下部は部分架設橋のままでの石橋で、きれいなアーチ型。大正の初期、区内の石上尾崎橋高によって造られました。

昭和三十七年から四十一年にかけ、道路整備のため上部を拡張しましたが、脚古とアーチ部分は原型を今も残っています。

大雨で川が増水してもヒクともせず、気品のある姿を川面に映してあり、がっちり組み立てられた石二つに長い年月がしのばれます。

市内にも十数年前までは、アーチ型の石橋がいくつも見られましたが、河川改修でその姿は消え、今では「三橋」が残っているだけ、私たちの大切な遺産として後世に引き継ぎたいものです。

59年  
**6**月号



魚籠投入も順調（イセエビ用の魚籠）

# 動き出す栽培漁業

## 60年度からセンター建設へ

### つくる漁業を推進

阿久根市では「採る漁業」づくりを進める。栽培漁業事業が本年度から本格的に動き出しました。六十年からは栽培漁業センターの建設も予定されており、最近、水揚置の横ばいが続き伸び悩みの漁業関係者から期待が寄せられています。

市は、これまで稚ウニなどの放流を続け、栽培事業を進めてきましたが、結果も良く、県でも阿久根を中心とする川北陸地域の漁業振興を図ることから、早急に事業を進めることにしています。

県では、昭和四十二年県水産試験場垂水増殖センターを設置して栽培漁業に取り組み、昭和五十五年垂水市に栽培漁業センターが完

成したのを機会に栽培事業に力を入れてきました。ここで種苗生産されるマガイ、イシダイ、ヒラメ、アワビ、アカウニ、トコブシ、クルマエビの魚貝類は県内各地域で放流されています。

「採る漁業からつくり、育てる漁業」を進める阿久根市も今日まで、魚籠の投入や薬いそなど各種の事業を推進し、漁業の振興を図

ってきました。人工魚籠はこれまで（昭和四十七年）黒之瀬戸から尻無までの阿久根海岸沖にタイヤ六百五十個、大型、並型魚籠約九千四百個、タートルブロックを投入。昭和五十六年度から五か年計画で阿久根沖沖十、十三、一三には、総事業費約六億円で大規模人工礁の設置も始まり、着々と「育てる漁業」づくりが進んでいます。

一方、栽培漁業の一環としては昭和五十六年から五十九年の今年まで四年間に、県の補助を受け、垂水のセンターで人工ふ化された直徑一・五センチから二センチのアカウニの稚ウニ六十万個を西目地区の佐高や高之口、黒之浜沖に放流してきました。初年度に高之口に放流したウニについては昨年収穫が行われ、生育は順調で、歩留まりも四〇％と好結果をあげています。また、今年にはヒラメ、ガサミの放流も計画され「つくる漁業」も順調です。

## 県が基本調査 270万円で魚類や場所の選定を

今回、阿久根市が国や県の補助を受けて進める栽培漁業事業は、本年度が初年度で具体的な事業計画は県と市が最終的なツメを進めている段階ですが、本年度は県が二百七十万円の基本調査費を計上、

水深や水質、魚貝類の生息状況の環境調査、関係機関の代表者による放流魚種、数量、センターの建設場所などについての検討が行われ事業を推進していきます。センターで種苗生産される魚貝

### 表紙説明

ディスプレイあくね 見直そう

ふるさと

野山の木々が鮮やかに緑を増し、ふる里を喜んでいます。太陽もさんさんと輝き、いよいよ六月、初夏の季節を迎えます。

阿久根市は今、自然を守りつつ、住みよいまちづくりを進めています。緑のまちづくりもその一つ、市役所前のイヌマキ通り、市民いこいの森の整備、市内各公園への植樹などグリーンストーム（緑地帯）も多くなりました。

また、阿久根には数多くの文化財も残っています。阿久根砲、ハマジンチョウ、南方神社の神舞などの県指定文化財から市指定のものを含め、有形、民俗文化財と数多し。

そしてなによりも阿久根は景色がよい、阿久根大島、牛之浜西目海岸、黒之瀬戸と、名勝地に恵まれています。海と山に囲まれたわたしたちの阿久根には見るべきものが豊富にあり散策にはこと欠きません。あなたも再発見してみませんか。

栽培漁業についての検討会も始まる



56年放流分も5-6cmに生育

類としてアカウニ、ガサミ、ヒラメ、アワビなどが予定されています。  
センター建設は六十年年度から五年計画で進められますが、県の栽培センターにも劣らない、立派な栽培センターが阿久根にも設置される見込みで、漁業のまち阿久根には大きな福音、漁業関係者の夢は大きくふくらみました。



稚ウニの放流(黒之浜地区)

## 国民年金事務がコンピュータ化 毎月納付(保険料)に

高齢化社会を迎え、年金受給者は年々増加の一途をたどっています。これに伴い、公的年金制度の一元化を軸とした制度全般の見直しの線に沿って、今後増大する業務を迅速、的確に処理し、被保険者や、受給権者に対するサービスの向上をはかることを目的に、四

### 保険料の納入方法

○毎月納付になります(区長さんの指定日)

○納付書は所定のもの以外は使用できません。  
○納付書は各区の区長さんが保管しています。

### 国民年金被保険者の資格事項について

○資格取得、喪失の手続きは必ず社会保険証など確認できるものを係に提出してください。  
詳しくは市役所年金係へおたずねください。

## 市長室から

梅雨の季節を迎え、雨の多い日が続いていますが、毎日、お仕事や家事などに元気で過ごしのことを存じます。  
この間も、自然界からすれば農作物や樹木などの生育には欠かせない大切な雨であります。一方では災害をもたらす雨でもあります。



ご存知のように阿久根市は昭和四十六年・四十七年と二年にわたり、大雨による災害を被り、十人の尊い生命と多くの財産を失い、被害総額も約二十二億円に達したのであります。  
あの災害からすでに十年以上を経て、災害のキズ跡はすでに覆旧されましたが、まだまだ市内には多くの危険箇所が残っています。

私はあの災害を教訓として、防災には特に力を入れ行政を進めておりますが、五月二十日には市内の災害危険箇所の見直しもいたし、防災会議を開き、その対策を講じたところであり、この中には、子どもたちの通

学に危険を伴う箇所もありましたが、大事な子どもたちの生命を守るためさっそく改善を図ったところであり、また、ガケ崩れの恐れのある急傾斜地も県の協力で工事してもらおうよう協力をお願いします。防災には万全を期して対処してまいります。

阿久根市長 川畑 強

# 坂元さんら特別表彰

## 一般功勞に牟礼さんら二十五人も

昭和五十九年の市民表彰式は、五月二十三日市民会館ホールに、受賞者や区長、市議会議員など三百人が出席して行われました。

表彰式では市民特別表彰として坂元善文さんら十一人。一般功勞者として牟礼安美さんら個人二十三人と二区を表彰しました。

### 市民特別表彰者

#### 地方自治部門

節さんを表彰しました。また、一般功勞者では地方自治部門で牟礼安美さん六人、木松夫さん

ら五人、産業経済部門で尾上重義さん、松下一雄さんら十五人を、社会福祉部門で海平三蔵さん、松尾直義さんら三人と川畑中、木佐木野区をそれぞれ表彰しました。このあと、受賞者はそろって記念写真、引き続き祝賀会が行われました。

卓越した手腕と力量で、戦前戦後の激動の時代から新しい地方自治の確立のため一貫して市勢発展のため尽力いただきました。

#### 坂元善文さん (72) 上野区

昭和二十六年市議会議員当選以来、約十八年議員として活躍、昭和二十二年から三十四年と、三十八年から四十四年は議長、昭和五十年一月から五十四年一月まで市長として市政の推進に尽力いただきました。

故大田 繁さん (五十八年七月、七十三歳で死亡) 尻無下区

昭和四十二年市議会議員に当選以来十六年間議会活動に尽力いただき、昭和五十四年から五十八年の四年間議長。



市民表彰式が行われたホール

式ではまず、川畑市長が一戦後三十九年の歳月が流れ、混乱と欠乏の時代から幾多の苦難を克服し、私たちの郷土阿久根も今日のすばらしい復興、発展を遂げ、豊かな活力あるまちづくりが着々と進められています。これも市民の皆様方のたゆみない努力のたまものと考えています。この際には、常に愛郷心に燃える先輩たちの功績を忘れてはならないと思います。

また、本日表彰を受けられます皆様方のこれまでのご努力、ご協力に心から感謝申し上げます。今後とも先輩、よき指導者としてご協力くださるよう、お願いいたします」とあいさつ、さつそく表彰に移りました。

地方自治部門で坂元善文さん、故大田繁さんら八人を、産業経済部門で田野正治さん、社会福祉部門で故平清人さん、一般篤行で塩田

受賞された坂元さん、故大田さん、白濱さん、上野さん、黒崎さん、堀山さん、故若松さんの七人は永年にわたり議会活動を通じ、

### 誕生

おめでとー



出生児	保護者 区名
田平 効作	義昭(橋之東)
中野沙利美	芳美(箭田)
脇本えりか	栄治(下村)
福崎 崇	安徳(上野)
平蔵 祐樹	茂(永田上)
山田 和哉	未知夫(尾崎)
東園多恵子	和茂(大丸)
松永 智巳	七郎(折口東)
西村 清美	光則(波留)
長野 和也	和美(羽田)
波留 聖美	昭人(波留)
川崎百合子	誠(尾崎)
寛永 眞珠	和博(波留)
柘 文雄	実(大川島)
野田祐太郎	徳一郎(上野)
山下 敬郎	敬裕(新町)
牛ノ濱美由紀	勇(遠見ヶ岡)
中野 智美	良一(一段)
野崎 政広	晋作(浜)
寺岡 忠	薫(波留)
花園亜由美	誠(大丸)
西 浩一朗	春男(波留)
井上ひろみ	伸一(永田下)
原口 勇太	俊広(内田)
新村 洋平	洋一(高之口)
坂元 亮太	清蔵(浜)
赤木 泉	政一(段)
西ノ原正敏	正二(牧内)



受賞された方々

市政発展のためご尽力いただきました。  
 十八年から五十二年の六年間は区  
 長会長として市行政の連絡推進に  
 ご協力いただきました。

堀山正吉さん (78) 段 区

昭和十七年阿久根町議会議員に  
 当選。昭和二十年からは市議会議  
 員として十九年(町議十年を含む)  
 市政の発展にご尽力いただきました。

故若松阪二さん (今年二月、  
 七十四歳で死亡) 尻無上区

昭和二十二年阿久根町議会議員  
 に当選。昭和三十年からは市議  
 議員として十五年(町議五年)間  
 にわたりご活躍いただきました。

羽田義成さん (75) 葛野区

選挙管理委員会委員として、ま  
 た昭和四十二年から五十八年まで  
 の十六年間葛野区の区長として献  
 身的なご努力をいただき、昭和四

### 産業経済部門

田野正治さん (73) 中村区

昭和二十三年、阿久根商工会議  
 所の初代会頭として就任、昭和四  
 十六年までの十二年間にわたり、  
 商工会議所の発展にご尽力されま  
 した。

また、昭和二十四年から昭和四  
 十五年まで観光協会会長として観光  
 事業の発展にも貢献されました。

### 社会福祉部門

故平清人さん (今年二月、  
 七十五歳で死亡) 古里区

昭和二十一年藤本古里で平医院  
 を開業。地域医療に専念するがた  
 わら、市内小中学校の学校医とし  
 て三十五年余りの間児童生徒の健  
 全な心身の保持増進にご尽力いた  
 だきました。このほか阿久根市教  
 育委員として教育行政に貢献され  
 ました。

### 一般篤行

塩田 節さん (56) 新町区

四月四日逝去された故塩田育則  
 氏の夫人で、ご主人の遺志に基づ  
 き、阿久根市の読書活動の向上と  
 市立図書館充実のため図書と書架  
 を寄贈いただきました。

## 一般功勞者

### 地方自治部門

幸礼安美 (牛之浜) 太下本松夫  
 (大下) 眞草武夫 (中屋敷) 馬見  
 塚四男 (馬見塚) 新柳政太 (飛松)

### 産業経済部門

尾上重義 (飛松) 松下一雄 (桐野  
 下) 赤瀬川惇 (中村) 吉田次雄

### 社会福祉部門

海平三藏 (段) 松尾直義 (永田下)

白濱實徳さん (89) 高松区

昭和三十年市議會議員に当選以來  
 二期八年にわたり議員として市政  
 の発展にご尽力いただきました。  
 昭和三十六年から三十八年まで議  
 長。

上野重春さん (80) 陳之尾区

昭和三十年市議會議員に当選以  
 來二十年にわたり議員として活躍  
 されました。現在市の老人クラブ  
 連絡会の会長としてご尽力いただ  
 いています。

黒崎定男さん (71) 中村区

昭和二十四年市議會議員に当選  
 以來二十一年間にわたり議員として

### 5月の市内交通事故

	( )は前年	累計
発生件数	9 (11)	54
死亡者数	0 (0)	1
傷者数	10 (11)	68

山平正弘 (深田) 川畑中區 (中野  
 実区長) 木佐木野 (徳田松雄区長)



婦人会離れは阿久根市だけがかかえる悩みなのでしょか。県内十四市を例にとつて見るとほとんどの市が阿久根市と同じように会員が減少しているのがわかりました。そこで今回は県内の現状にも少しふれ、また、市内のいくつかの婦人会の活動のようすを探ります。

区(部落)の奉仕作業には婦人の協力がやはり必要

# いまなぜ“婦人会離れ” 大口、川内市は市婦連消える シリーズ ②

鹿児島県内には市単位で十三、郡で十二地区六十六単位、合計八十の婦人会が結成され、地域ごとに活動を続け、これが一つにまとまり鹿児島県婦人会連絡協議会を発足させています。

人だつた会員は、五十七年度には八万九千人、約一万人も減少しており、阿久根市と同様の原因をかかえて鹿児島県内の婦人会も、婦人会離れが進んでいるのがわかりました。

それでは阿久根市の近隣、出水川内、串木野市の婦人会の現状はどうでしょうか。それぞれの市の社会教育課にお話しを伺いましたので簡単にふれてみます。

出水市には、十の校区組織の下に百十六の地区婦人会が結成され活動が続けられており、今のところ市の婦人会にはすべて「十校区」の校区が加入しているとのことですが、スムーズな運営が行われていません。しかし会員は年々減少の傾向にあり昭和五十四年三千百人いた会員が五十八年には二千七百人、約四百人減少しています。出水市では年度初めなど自治公民館長さんが中心となり、婦人会の組織が壊れないようあらゆる面で協力しているとのこと。

## 串木野市は

### 会員増加中

川内市ではどうでしょうか。五十八年度までは川内市婦人会の会員数はたつたの二百人でした。川内市は十九校区三百三十一区あり

## 生活資金に40万円まで 中小企業労働者に融資

県では、中小企業に働く人が緊急に生活資金を必要とする場合、すぐにお役に立つよう労働者緊急生活安定資金融資制度を設けています。

資金は、進学のための資金、貸金の遅れを補うための資金、休業手当を補う資金、災害の対策資金の四種類です。

融資額は、四十万円以内で、利率は、年六厘です。返済は三年以内の一括払いまたは分割払いになっています。

詳しくは、県庁労働課(〒890 鹿児島市山下町一四一五〇) 0992(0)8111内線2381、大島支庁厚生課、鴨毛支庁総務課、最寄りの総務事務所、労働金庫へお問い合わせください。

## 「鹿児島の特産」

### 県が論文を募集

県では、二十一世紀を展望した本県の将来像、あるいは、二十一世紀に向けての本県の課題などを

# 県下でも会員減少中

ますが、市の婦人会に加入している校区はわずか二校区だけ、校区組織をつくっている婦人会も八区

ただで、市の婦人会はほとんど機能はマヒしているのが現状でしたが、昭和五十九年度残っていた一十四市では大口市について、議員

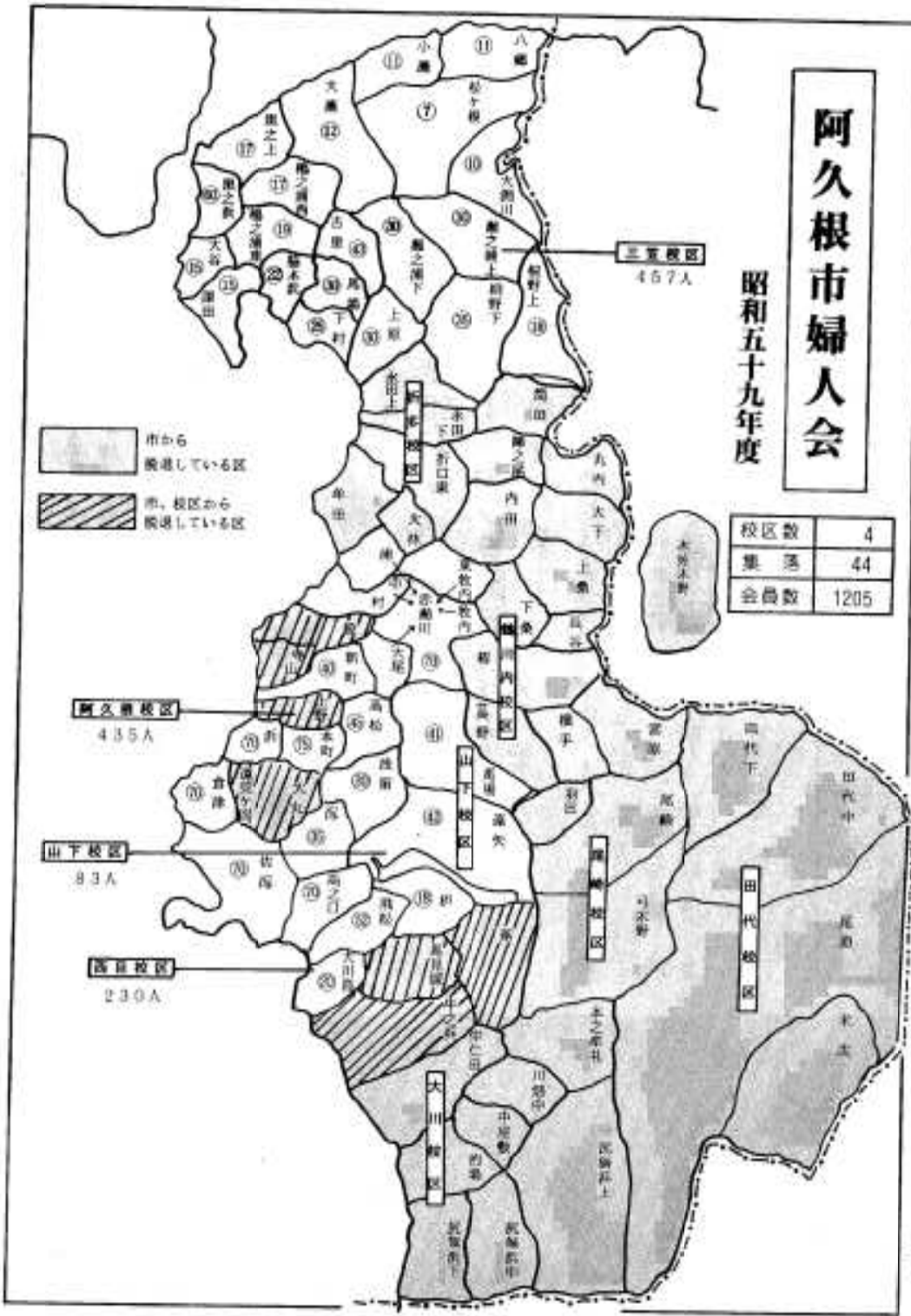
県内の婦人会の会員がどこも減少しているなかで、増え続けている婦人会は串木野市です。昭和五十四年度五千二百人だった会員は五十七年度には六千五百五十人、約七百人も増加しています。会員離れが進む婦人会にはうらやましい程の増え方ですが、この増加の背景の増え方ですが、この増加の背景

次のページへつづく

## 阿久根市婦人会

昭和五十九年度

校区数	4
集落	44
会員数	1205



扱った論文を募集します。

この論文募集は、県が昭和六十年から十年の次期総合計画をつくるのに、県民の意向を反映させようとするものです。

満十八歳以上の県内居住者及び本県出身者はだれでも応募できます。四百字詰め原稿用紙で二十枚程度にまとめ、県庁企画課(〒892 鹿児島市山下町一四一五)

〇 〇99228111 内線2213)へ提出してください。表紙には論文の題名、氏名、連絡先住所、電話番号、年齢、職業を明記してください。

入賞者には賞状と賞金があります。一等二十万円、二等十万円、三等五万円、入選五編二万円。

**自動車税は、毎年四月一日現在陸運事務所に登録されている自動車の所有者(制賦等で購入し、販売会社が所有権を留保している場合は、使用者)に課税されます。そのため、たとえ自動車を他人に譲渡したり、廃車した場合でも、移転登録や抹消登録をしなければ、いつまでも旧所有者に税金がかかります。また登録のすんでいない方は、すぐ陸運事務所登録の手続きを済ませてください。**

**自動車を譲渡・廃車したら登録手続きは早目に!**

自動車の譲渡・廃車した場合は、毎年四月一日現在陸運事務所に登録されている自動車の所有者(制賦等で購入し、販売会社が所有権を留保している場合は、使用者)に課税されます。そのため、たとえ自動車を他人に譲渡したり、廃車した場合でも、移転登録や抹消登録をしなければ、いつまでも旧所有者に税金がかかります。また登録のすんでいない方は、すぐ陸運事務所登録の手続きを済ませてください。

景には、なにがあるのでしょうか。話を聞きました。串木野市の婦人会は昔から活発で、県の婦人会長もこの地区出身とか。また、十二の校区と九十四区があります。すべてに婦人会が結成され、それが全部市の婦人会に加入し、退会している婦人会は、一か所もないそうです。

### 毎月一回は全会員が参加する 行事を入れコミュニケーションを図る

#### 飛松婦人会

「やはり婦人会の活動をやっていくためには、校区の婦人会に入りそして市に入って活動するのがあたりまえのことで、私たちは校区を脱退することはありませんし、校区も市を離れることはないでしょう」と語るのは西目校区飛松婦人会の五十八年度のある幹部。

飛松婦人会は市に加入している婦人会のうち、活発に活動を行っている婦人会の一つです。五十八年の主な行事をひらいてみて、**4月** 物置注文、役員西目小へぞうきんプレゼント。**5月** 役員会、公民館清掃、婦人学級開講式 **6月** 旅行について打ち合わせ、ミニバレー(婦人学級) **7月** 海岸清掃、ボロ回収、マスケゲーム練習、親子会球技

活動がなされているのでしょうか。「串木野の婦人会の皆さんは、市の婦人会に入って活動するのがあたりまえと思っているし、昔からこれが習慣化され、団結が強い」と話してくださいました。

会員が減少する市町村もあれば増える市もあり、なかなか婦人会の問題は難しいところだ。

大会 **8月** 西目校区体育大会出場、並おどり、校区ミニバレー練習 **9月** 婦人会旅行、敬老会、**10月** 市民運動会マスケゲーム、**11月** 母親セミナー **12月** ボロ回収 **1月** 校区マラソン大会、役員改選……など盛りだくさん

### 県内14市婦人会員数の推移 (58.6.18現在)

市	54	55	56	57	58
鹿児島市	8,000	8,000	8,000	7,000	7,000
鹿児島市	1,700	1,745	1,754	1,732	1,685
川内市	1,100	1,053	384	200	200
名瀬市	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000
出水市	3,100	3,120	3,001	2,852	2,700
国分市	2,300	2,300	2,024	1,930	1,830
指宿市	2,100	2,183	2,019	1,761	1,711
串木野市	5,346	5,596	5,713	5,813	6,055
枕崎市	2,650	2,707	2,655	2,650	2,650
阿久根市	2,512	2,138	1,926	1,817	1,354
大口市	-	-	-	-	-
加世田市	3,300	3,215	3,001	2,800	2,600
垂水市	2,807	2,819	2,766	2,716	2,716
西之表市	650	700	750	750	750
市計	36,425	37,576	35,993	34,021	33,255

の行事です。これらに出席する幹部の方々の行事も多い反面、毎月一回、会員が出るよう行事もよく計画されています。五十八年度の会長は、「会員の皆さんは、行事等へは喜んで参加してくれるし、物品販売、ボロ回収など会員の協力も良いです」と活動が充実していることを話してくれましたが、働く婦人が会員の中にも増え、出席率が低下していることと、やはり役員へのなり手がいないなど悩みもあるとのことでした。



### 交通遺児の 高校奨学生 予約募集中です。

○奨学金 月額二万円(国公立) 二万五千元(私立)  
○応募資格  
①保護者が道路上の交通事故で死亡したり、重い後遺障害で働けないため②教育費に困っている家庭の③中学三年生で④来春高校、高専進学をめざすもの  
○採用方法  
書類審査のみ  
○出願期限  
七月三十一日まで  
なお、出願に必要な書類は各学校にあります。  
大学、専門学校への進学も応援しています。

**不用犬の  
引き取り**

**六月二十六日**

午前10時～10時半

保健センター





婦人会あゆみの一コマ—大丸国防婦人会

## 市にも校区にも 入らない牛之浜区 しかし活動は活発

さて、一回目で触れましたが、校区にも入らないで独自で着実に活動を続けている区(部落)婦人会も市内の婦人会の中には数多くあります。

その中から市内大川の牛之浜区

の婦人会の活動の様子について少し紹介したいと思います。

大川校区婦人会は、昭和五十八年度に市の婦人会から脱退しましたが、牛之浜区の婦人会はそれより二十年も早く昭和三十八年に校区と市の婦人会から一足先に脱退しました。どのような理由(原因)で脱退したか知るよしもありませんがそれ以来、今日まで一匹狼的存在で他の婦人会と同様の活動を続けてきています。

## 『婦人会の立直しを期待 対策がなかったのが残念』

毎月の行事も決め、会費などきちんと徴収し、区行事等へも協力してはいますが、ある婦人会員は「区(部落)内の行事、活動は充分やられても、学校行事などで市や県の婦人会員と逢って話をする時、いつも時代の遅れを感じます。これからは目を閉じて歩いてはいけません。脱退したことは残念ですが、逆に孤立している私たち婦人会からみて、なぜ」と、今の市の婦人会に問いたい気持ちです」と、婦人会が脱会したのを残念に思っているが、なぜ、婦人会がここまでなっただか疑問視するむきもありま

### 牛之浜区の會員

県内の現状、隣接市、市内二つの婦人会を紹介し、それぞれの現状をみてみました。

婦人会に入って立派に活動をしている婦人会はあたりまえのこととしても、脱退しても区で活動する婦人会……しかし、現実には、婦人会離れは、じわじわ進んでいるのです。

今回は婦人会離れについてのよい対策はなかったのか、市婦人会、行政の対応を探ります。

## 「初めてどう」 牛堀君ら受賞

郵便局スケッチ大会

五月十三日阿久根郵便局主催によって行われた、スケッチ大会の作品の審査結果が発表されました。

★九州郵政局貯金部長賞

牛堀晃一、新町あゆみ、佐野敦美  
室屋保仁、楠村陽一、佐浜すみれ  
田原康範、浜辺勇一、大石直美、  
牛之浜高博、真鍋真弓、本真紀、  
北平聖美、牛堀仁、田代輝美、柳志津子

郵便局長賞は太田雅子さんら六十五人、新町婦人モニター賞は谷夏美さんら十四人でした。

## 市営住宅の 入居者を募集

7月14日まで

市では、市営住宅でこれから空家になる住宅の入居者を募集しています。

▽申し込み期間

六月十五日から七月十四日まで

▽申し込み方法

市役所都市計画課建築係に備えつけの申し込み書に記入のうえ、関係へ提出してください。

申し込み資格や種別などを詳しくは関係③1211内142へ



整備が進む市街地

# 市街地の用途地域を！ 十月をメドに指定へ

## 指定区域内での 建物の建設が 規制されます

最近、阿久根市の市街地にも四五階建てのビルや商店、工場、事業所の建設が進み、近代的、都会的なまち並みを形成してきました。しかし、一方では一部の建物が場所を違はず、どこにでも建てられているため環境的に好ましくない状況をつくり出している地域も見られます。用途地域の指定の大きなねらいは、住みよいまちをつくるために、建物を建設する際に無秩序な建物が建設されないよう、最低限のルールを定め、騒音や悪臭、日照妨害などの悪い環境をつくり出すことのないよう地域のよりよ

い土地利用を定めることなのです。今回の用途地域の指定区域は上野、新町、高松、本町、浜、大丸区の市街地区と、ここに隣接し近年開発が進み発展しつつある鶴岡、湯戸、丸尾、波留、岐、大尾、寺山の区域、「百八十八」区です。地域の土地利用についてはそれぞれ地域の目的にふさわしい、住民にとって住みやすい市街地の環境を保つため七つの地域指定を行います。

### 第一種住居専用

#### 地域など

#### 七地区に指定

住宅地として①第一種住居専用地域（二戸建て住宅を主体として、低層の住宅地域で、日常の生活に必要な一定の店舗併用住宅、公衆浴場、小・中学校、小規模な郵便局などが建てられます）②第二種住居専用地域（中高層の住宅地域で、工場、ポータリング場、旅館などは建てられませんが病院、一定規模以下の店舗、事務所は建てられます）③住居地域で、小規模な工場やパチンコ店、ホテル、旅館などが建てられます）

商業地の配置では①近隣商業地域（周辺の住民に対して日用品を供給する商業などの利用地で、店舗、事務所などのほか、小規模な

こめいふくき  
お祈りします

上野	中村	中面	出口	森園	大下	本田	若松	黒崎	濱崎	福崎	花木	上野	谷口	小田	北園	久保	上村	折橋	河南	男玉	鶴岡	本田	宮前	笠原	双津	京田	八郷	外戸	細野
初雄	ナカ	末次郎	ナカ	博康	源藏	豊二郎	スエノ	茂	マツ	兼藏	チヨノ	フミ子	チカノ	原ノエ	昭雄	ヨシカメ	兼藏	修	健	ナイ	イロノ	義則	廣美	半藏	オフチ	ソメ	一意	口ヨシ	浦ヨキ
87	60	81	88	62	67	62	93	36	89	80	73	60	79	80	45	74	68	35	52	80	83	84	57	81	75	77	75	73	74
(波留)	(的場)	(大下)	(中村)	(本町)	(新町)	(遠矢)	(尻無下)	(中村)	(大丸)	(上野)	(的場)	(羽田)	(新町)	(上野)	(本町)	(佐)	(梅)	(弓木)	(上野)	(新町)	(尻無中)	(山馬場)	(丸内)	(桐野)	(下村)	(瀬之上)	(八郷)	(古里)	(古里)
昇	ヒロエ	勇	一	子	ゲ	江	猛	子	守	エノ	利徳	造	次	子	務	エ	子	安子	登喜世	文一	優	長子	シズエ	馨	隆	ユキノ	勇	充	

工場は建てられます) ②商業地域 (商業を営む地域でデパート、専門店、娯楽施設、料亭、キャパレ、ホテル、旅館などが建てられます) ③工業地域 (すでに工場を主体とした市街化が進んでいる地区で、工業を優先的に考えていかなければならない地域)

### 用途地域とは

住みよい街づくりのために、市街地内の区域で建物を建てる場合に、建物の種別や敷地などの程度の広さの建物を建てるか、また、どの程度の高さの建物を建てるかなどを都市計画に定めることです。

工業地は①準工業地域 (環境の悪化をもたらす恐れのない工業地

域で、公害の発生のない工場や危険物を扱う工場を除いて、ほとんどの用途の建物が建てられます) ②工業地域 (すでに工場を主体とした市街化が進んでいる地区で、工業を優先的に考えていかなければならない地域)

これらの指定地域は、土地区画整理事業などを導入し、市街地の整備が図られることとなります。市ではすでに用途地域の案を作成中で、関係機関との調整を図りながら市民の皆様にご意見を伺い、もしは説明会を終了したのち、県へ指定の申請をし、県知事の承認を得て遅くとも十月をメドに指定にこぎつけたいとしています。

用途地域が指定され効力が発生すると、この指定区域内で建物を建てようとする場合、用途地域ごとに建物の用途や敷地面積に対す

る建坪の割合(建ぺい率)及び、敷地面積に対する延床面積の割合(容積率)の範囲内で建物を建てていただくことになり、無秩序な建物は建設できなくなります。都市計画法に基づく用途地域の指定は、すでに県内では廣府丸島市、鹿屋市、川内市、出水市など多くの市町が指定を受け、住みよいまちづくりが進められており、阿久根市でもこの用途地域の指定により、本格的に環境の整った住みよいまち「陸と海の調和のとれた活力ある都市」づくりをめざします。

雨期を前に、五月二十日市内の災害発生危険箇所防災点検が行われました。

点検には川畑市長ら市、県、警察、消防などから二十人が参加。災害の発生の恐れがある七箇所を午前九時から点検しました。

まず、大雨時に排水路が不備のため水路をオーバーし、宅地や道路、学校が浸水する濁地区を点検。排水路や測溝の現状を点検し、チェック。次に昭和四十六年災害でガケが壊れ、災害復旧しましたが、その後擁壁にキ裂が見られる「聖園」老人ホーム南側急傾斜地を点検し、キ裂の状況などについて担当の係から詳しい説明を受けました。

このあと田代下から脇本の新田

地区と回り、新田地区では大雨時の子どもたちの通学路について対策を話し合いました。

## 通学路など確保しよう

### 湯地区など防災点検



湯地区の排水路を点検

盛土のため地すべりの発生の恐れのある黒之上区、上野都市下水道事業で改修が進む池尻川、倉津

地区の急傾斜地の現場も引き続き点検しました。

このあと、点検箇所の防災についての検討会が行われ濁地区については東部にある農業用溜め池の適切な管理と排水路の整備、通学路についてはもう確認してもらいます。「聖園」老人ホームの急傾斜地については雑木の伐さいと目づめ等を行う。新田地区については大雨時の管理、連絡体制の強化を図ること。倉津地区は本年度から急傾斜地の工事に着手するなど、対策を構えました。

### いざのとき

警察 110番  
消防 119番

## 消費者 質問箱

①

しつこく強引な  
勧誘でトラブル多発

### 相談

「ケース」駅前前の広場でセー  
ルスマンにしつこく勧められ、化粧品セットの購入契約をしてしまいました。解約したいのですが...

### 答

「キヤッチセールス」と呼ばれ、訪問販売の一種です。

通商産業省の認可団体(社)日本訪問販売協会では、倫理綱領によって、このような販売方法は不適切なものとみなし、厳重な指導をしています。また、同工業会では自主規制で禁止事項とし、契約者から解除の申し入れがあった場合は直ちに解除に際する、としています。

キヤッチセールスによるトラブルのなかには、契約者が未成年者(既婚者を除く)で、法定代理人の同意を得ていない場合が多くあるようですが、この場合は契約を取り消すことができます。

# 地域医療のお役に

## 診療再開大川診療所



田之上先生により診察が始まる

医師の退職により、昨年の十二月から休診していた市内大川の市営大川診療所に、このほど田之上茂行先生が着任され、診療が再開されました。

田之上先生は、昭和二十三年九州大学医学部を卒業され、医師として活躍。昭和四十八年から国立療養所阿久根病院に勤務され、五十八年には副病院長に就任されましたが、このほど市の要請にこたえられ、大川診療所に勤務していただくことになりました。専門は内科です。

五月七日の再開日には早朝から地区民が訪れ、先生から診察していただいています。あるお年寄りは「先生のくるのが待ちどおしかったです。病気になるば市街地まで

出かけて行かねばならぬ心配でしたが、もう、これで安心して治療ができます」と喜んでいました。

田之上先生も「地域の皆さんの健康づくりのために、お役に立ちたい」と決意を話してくださいました。

### 110万円相当の蔵書と書架

#### 図書館に寄贈

琴平町の塩田さん

市内琴平町の塩田さんが、このほど市立図書館に百十万円相当の蔵書と書架を贈りました。

市立図書館では館内に塩田文庫を設置し、市民に開放しました。

# 「タシゴリ、活気」

## エンドウ ソラマメ 集出荷を激励

### 川畑市長と新柵助役

エンドウとソラマメの出荷の最盛期に入った五月四日と八日、川畑市長と新柵助役は集出荷状況を視察し、生産農家を激励しました。

四日があ久根農協管内の牛ノ浜、馬見塚、柵、飛松など七か所。八日が三五農協の深田、黒之浜、大谷など十四か所の出荷場を、朝五時半から回りました。各出荷場では農家の方々が運んできたエンドウ

塩田さんの夫育則さんは四月四日なくなりましたが、大の読書家だった夫の遺志を生かし、市に贈ったもので、蔵書は辞書や歴史書など二百七十冊と九万円相当の書架。

塩田さんは「市民の学習、読書力向上のために今後も毎年約五十冊を贈ります」と、協力を約束してくださいました。

### 交通事故相談日

七月十三日(金)  
市民相談室

とソラマメをケースに入れ、計量、荷作り、とお忙がし。川畑市長も「今年の作柄はどうですか」と、生産農家を激励しました。

今年のエンドウとソラマメの作柄は、寒さが長く続き収穫が一週間ほど遅くなったわりには、成育は順調で、収量も昨年よりやや多め、出荷場にも久しぶり活気が満ちていました。

### 原子力発電所の見学会を実施

#### 希望団体は申し込みを

市では、原子力発電施設や、原子力発電のしくみを知ってもらうため、原子力発電所への見学会を実施しています。

見学会の詳細は次表のとおりです。  
見学会に参加希望の団体は、市役所企画課☎2111内231へ申し込んでください。  
締め切りは六月二十日(土)までです。

見学地	日程	人員	回数
佐賀県玄海町 玄海原子力発電所	1泊2日	38人程度	1回
同上	同上	19人程度	4回
川内原子力発電所 (各種子伊団体、少年団対象)	日帰り	大人(引率) 3人 小人30人程度	1回



# 「いよいよ夏」

## ゴミ収集にご協力を!!

▽ゴミは燃やすか埋めるなどの方法で、できるだけ各家庭で処理し、出すゴミを少なくしましょう。  
 ▽ゴミは燃えるもの、ガラス類、金物類に区別し、水切りをよくして出しましょう。  
 ▽ゴミは決められた日の朝の八時四十五分までに出しましょう。祝祭日や年末年始の休日ときは、

次の収集日に出しましょう。  
 ▽農林漁業や商業などの事業活動



決められた日の朝に

によって生じる多量のゴミは自分で処理しましょう。

### 60年の成人式は

平服で  
 阿久根市新生活運動  
 推進協議会

### 青年の家利用

#### 申込みは早めに

「青年の家」の利用計画がある団体(子ども会・スポーツ少年団・PTA・小中高等)は早めに申し込みください。夏休み等に入りますと利用団体も多くなることを考えられ、日程の調整も困難が予想されます。

◆申込先 阿久根市教育委員会  
 社会教育課(電話②1051)  
 ※申し込み書は社会教育課にあります。

### 農業委員選挙

#### ●七月八日告示

#### 十五日投票日

もれなく清き一票を  
 阿久根市では七月十五日に農業委員会委員選挙が行われます。  
 投票できる人  
 五十九年三月三十一日確定された、選挙人名簿に登録されている人(なお、農業委員選挙の場合は選挙時登録はできません)

#### 不在者投票ができません

投票日に投票所に行けない人は市選挙管理委員会において投票できます。(印かんをお忘れなく)  
 期間 七月八日から七月十四日  
 時間 午前八時三十分から午後五時まで。  
 郵便による不在者投票を希望されるかたは、投票用紙を告示前に請求できますので早めに請求してください。

#### 時間を忘れないように

十五日の投票時間は午前七時から午後六時までです。  
 ただし、第十投票所(田代小学校)第十四投票所(華人小学校)は午前七時から午後五時までです。

### 職業訓練指導員 免許講習会

- ◇職業訓練指導員の免許を取得したい人のための講習会
- ◇期日は59年7月18日、24日
- ◇場所は鹿児島労働職業訓練校(市内草牟田2丁目36、39)
- ◇受講資格は実務経験15年以上の人か1級技能士 ◇人員は50人
- ◇受講料は6千5百円(他にテキスト代千5百円)
- ◇受付期間は7月2日、10日
- ◇申し込みは申込書に受講料を添えて〒892鹿児島市住吉町15番11号県住吉ビル3階、県職業能力開発協会②3240に申し込みのこと。書類審査のうえ適格者には通知します。

## ■LPガス■

### お済みですか ガス漏れ警報器の 取付けは

共同住宅(3世帯以上入居のマンション・アパート)や料理・飲食店など不特定多数の人が出入りする建築物で、LPガスを使用している場合は、液化石油ガス法によって、6月末までにガス漏れ警報器を設置することが義務づけられています。  
 まだ取付けていない方は、早目に取付けましょう。

### 苦しいときは

#### 保険料を免除

#### 国民年金

国民年金には、保険料免除の制度があります。生活が苦しく保

料を納めることができないときは市役所でご相談ください。

免除を受けた期間は、給付額が三分の一に減額されますが、保険料を納めることができなからといってそのままにしておくと、将

### 予約申し込み受付

#### 県勢要覧や統計年鑑

県統計協会では、「鹿児島県勢要覧」「鹿児島県統計年鑑」「鹿児島のがた」を六月下旬から七月上旬に発行します。

予約申し込みは市の企画課、又は県統計協会(〒892 鹿児島市山下町一四一五〇) 県庁情報統計課内 ☎0992②8111内線2262)へ。



■ 大川中学校

友だちの作品



市内の書店  
駄木栄成さん(65歳)

▽箱根の坂 上(司馬遼太郎著)  
▽兼書のように(高橋のぶ子著)  
▽坂本真理生きたる意味(山口玲子著)  
▽消えた外套(赤瀬川集著)  
▽大航海 上・下(伴野朗著)  
▽頭痛肩こり植口一葉(井上ひさし)

今月の新刊

図書館だより



著)▽野生の呼び声(関高健著)  
▽流れるままに、愛(小森和子著)  
▽ありんこアフター・データ(荒木一朗著)  
▽法廷生態学(和久峻三著)  
▽良寛(水上勉著)▽夫と妻のための死生学(水野肇著)▽

旅籠の道草(三浦哲郎著)▽海辺で(三木卓著)▽奇跡(有為エインジェル著)▽心を燃やそう(鈴木健)著)▽頼山のナポレオン(野田秀樹著)▽彼/彼女(ハーバート・ゴールド著)▽ここ過ぎて白秋と三人の妻(瀬戸内晴美著)▽偉大なる暗闘 師岩元福と弟子たち(高橋英夫著)▽日々の過ぎ方 ヨーロッパさまさま(堀田善衛著)

わたしの十八番⑥

しよけづくり



市内田代中 中野時義さん(73)

「人がつくつくとを見て覚えたつ、師しよどんはわらず、自「流」と語る中野さん。  
出来たしよけは自己流にしては立派なもの。手み、茶摘みカゴ、こえしよけ、かりチゴとつくるしよけの種類も多い。  
十月から十二月ごろがしよけづくりに一番よい季節で、竹を小さくわって、あんでいく。手みであれば一日二個はつくるそうです。つくりあげたしよけは、老人クラブの方々や親類、隣近所の人に全部プレゼントします。  
「茶つみかこは、底の折りまけんところ、コエしよけは、つくりじまいがむづかしかな」と、元気に笑う中野さん。また、花を愛する心やさしいおじいさんでもあります。

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時まで、急患の方以外はご遠慮ください。  
6月24日  
簡井耳鼻咽喉科②0040(栄町)  
北園医院 ②0016 (本町)  
黒木医院 ⑤0200 (下村)  
7月1日  
阿久根内科②0578 (琴平)  
喜多医院 ②0038 (大丸)  
石原医院 ⑤0045 (橋之東)  
7月8日  
上園医院 ③1055 (本町)  
内山病院 ③1551 (高松)  
臨本病院 ⑥2121 (橋之西)  
7月15日  
堀切産婦人科②0263 (高松)  
後藤医院 ③0420 (本町)  
浜之上医院②2600 (福馬場)

7月22日

林胃腸科外科③3639 (大丸)  
黒木外科 ⑤0200 (下村)

消防ミニニュース

(一)は一月から五月まで  
五月の火災発生数 2 (10)  
救急車出動回数 61 (29)

# サークル紹介 ⑧

## 詩吟朗詠錦城流

### 阿久根同好会



我が鹿兒島出身山本錦城(女史)が、今から二十年前古来我が國に伝わる漢詩(日本及び中国人の作)に薩摩琵琶の特色を取り入れ、独自の吟法を創り出し東京に出て全

國に普及した。これを錦城流と言ひ、その高弟の本村錦香女史は今から二十年前鹿兒島、出水、川内に教場を開きこの道の普及発展に尽され、今や県内各市町村に支部(三十人以上)道場があり会員は一千二百人に達した。我が阿久根も昭和四十九年二月、ちようど十年前、同志相集つて道場を開き、県本部長本村錦香女史の教えを受けることになった。程なく川内出身の吉本城川氏が師範になられ直接には指導を受け今日に至つていゝ。会員は二十数人でまた少いが、詩吟、朗詠を通じ古来の日本人の心を知り、優雅な情操を養ひ、斯道の振興と風教の善導につとめ、相互の親睦をはかるといふ錦城会の会則に則り、老若男女職業の如何を問はず和の精神で、毎週木曜日和氣霽々として楽しく勉強している。同好会長は黒崎栄氏です。

## 阿久根歌壇

### 折田 憲 司 選

(秀逸)

黒の瀬戸の潮の流れの速からむ海  
のなかに波の立つ見ゆ

赤瀬川 壺瀬 紀夫

(評) 叙景に徹し表現に発見の一語が坐つている。実景に即し実人生に即くことは作歌の要諦であ

る。

苞おとし色あたらしき木蓮にひす  
がら花冷の雨降りそそぐ

瀧 川畑 ヨツ

木蓮の花咲く小径ひさびさに夫と  
並みゆく月淡き夜

琴平町 川畑 スミ

唐突に吾に紙幣を差しいだす吾子  
の目やさし帰りゆく日の

桐野下 竹原キミエ

目覚むれば傍に母あき安らかな老  
いの寝顔に詫びてまた寝る

大川 花田 幸男

## あくねのみんな ②9



### 城趾のふしぎな火

昔、波留に賀喜城という城がありました。城主は成兼といひ千代姫という大変美しい世の匂

薩摩國本朝と消えぬとたらちねが  
はるかにきかばいかになげかん

娘がいました。

城中の若侍たちはみなあこがれていました。

高嶺の花でなかなか見ること

できませんでした。

そのころ成兼は桜木右京之助という好男子で武勇も城中一とい



う優れた若侍を新しく召抱えまし

た。

初夏の新緑が目にしむある日、

城中でめでたい酒宴が催されました。

この席で、千代姫と右京之助

が初めて見合ったのです。二人は

いつしか忍び寄り語る間がらとな

りました。

櫻やかであったこの城に突然密

偵から敵の襲来のあることを知ら

され城内は平和の夢が破られ、早

速戦術会議が開かれ右京之助も列

席しましたが、あまりのことに卒

倒してしまいました。姫は心配し

あわれと介抱に務めました。

一夜明けて出陣の法螺貝と陣太

鼓が晩のもやを破つて城内に鳴り

響くと城主成兼を先頭に皆勇まし

く城外に出て行きました。

右京之助は皆が出陣した後、姫

に敵の間者であることを打ち明

け「私は海に身を沈めあの世で

お待ちします」とい

つても一日許し

あつた仲、私も

一緒にお供しま

す」と、二人は

手を取り交わし

て、白砂の輝く五色浜に行き、奇

せては返えず波をめぐけて身を躍

らせた。

賀喜城趾に時々ふしぎな火がふ

わふわと戸柱山に飛んで行き消え

るといふ。この怪火は二人の魂で

はないかと言われています。

# みんなの広場

皆さんの周りで起きたニュース、  
話題など、なんでも結構です。  
広報係へお寄せください。  
☎1211内214

がんばって

いませ

す



大波にもまれ、たくましく生きる漁師。私もその一人です。  
市内黒之浜区 野村三昭さん(35)

## 「大漣」市役所 小漣「八郷丸」マイクバス運行順調 八郷 ありがたいことです 住民大喜び



地区民から善ばれる「八郷丸」

市内臨本の八郷、小漣、大漣の  
三つの区が借りあげ、運行してい  
るマイクバス「八郷丸」は三カ  
月経過して、利用も順調で地区民  
の足として定着してきました。  
三地区が「お年寄りの交通の便

## 楽しく茶摘み 山下小学校



楽しい茶つみ

の確保と過疎に歯止めを」と、バ  
ス会社の二十四人乗りマイクロー  
スを借り上げ、二月から週二回月  
曜日と木曜日に運行しているもの  
で、朝九時半八郷発、小漣、大漣  
臨本を通り市役所までと、十二時  
半市役所発八郷行きの一往復。  
当地区は昔はバスが運行されて  
いましたが、利用者の減でバスの  
運行もストップ。地区民とくにお  
年寄りや主婦の足がなくなり、買

い物、病院通いに不便を強いられ  
てきました。  
当初は試験運行でスタートしま  
したが、最近では利用率も安定、  
当分会社も地区に協力するため引  
き続き運行を約束しました。  
お年寄りも「病院へ行くにも他  
人の車に乗ったり、タクシーで通  
うなど大へんでした。バスがきて  
本当に助かっています」と喜んで  
います。

八十八夜の五月二日、市内の山  
下小学校で一番茶の摘み取りが行  
われ、子どもたちがかわいい手で  
茶摘みをする風景が見られました。  
同校の周囲に生け垣きとして植  
えてある約百本が茶園で、この日  
は一年生から六年生までの全校児  
童が、ビニール袋や竹カゴを持ち、  
約五時間ほどに伸びた新芽を上手に  
摘みとっていました。

## あくね弁で にぎわう 近畿地区阿久根会

近畿地区阿久根会(田原吉巳会  
長)の総会は四月二十九日、大阪  
南区の料亭で開かれ、会員や家族  
など二百人が参加しました。  
阿久根からも新幹助役や議会議  
係者(企業議政特別委員)など十  
人が出席しました。  
総会では会務報告などの審議が  
行われたあと、新幹助役が阿久根  
市の市政の状況を報告「阿久根人  
としての誇りを持って元気に頑張  
ってください」と激励しました。  
総会のおとは懇親会に移り、阿  
久根焼酎を飲みながら、一年ぶり  
の再会を喜び、にぎわいました。

## 「楽しく 学びます」192人

光臨大学開講  
昭和五十九年度、市の光臨大学  
の開講式が五月九日、中央公民館  
で行われ、入学を申し込んだ百九  
十二人が出席しました。  
今年のコースは文芸、書道、踊  
り、歌、大正琴、健康の五つ。毎  
月一回生きがいづくりに楽しく勉  
強します。



# 早水さん107歳に…

全国で11番 県では2番目の高齢者



川畑市長から祝福を受ける早水ツルさん(右)

市内新町の特別養護老人ホーム「桜ヶ丘荘」に入園されている早水ツルさんが、五月二十日百七歳の誕生日を迎え、十九日川畑市長や入園者から盛大な祝福を受けま

した。早水さんは明治十年生れ、三年前から桜ヶ丘荘に入園していただきます。目と耳が少し悪いほかは元気で、食べものも好き嫌いはなく入園者と同じ食事だそうです。

ハイ！元気だよ



沼田直哉ちゃん (1歳5ヶ月)

市内山下馬場  
沼田弘志さんの二男

わたしの

お父さん⑤

市内尾崎

野中義昭



野中義友さん(43)

ぼくの父はとても仕事熱心です。いつも残業をして、午後七時に帰ってきます。

それにぼく達の話相手になってくれる。日曜日になると、町などにつれて行ってくれる。

たまに卓球をいっしょにやってくれる。父はとても上手で、ぼくはまだまだかなわない。

そんな、仕事熱心でスポーツマンの父が大好きです。ぼくも、父みたいになりたいです。

赤ちゃんも

びっくり

佐潟で「ひな女祭り」

市内佐潟区に昔から伝わる「ひな女祭り」が、五月八日にぎやかに行われました。

今年のひな女は猿楽麻衣子ちゃん(父豊春さん、母三重子さん)、福田理恵ちゃん(父与詞男さん、母久美子さん)、佐潟重紀ちゃん(父幸男さん、母美代子さん)、猿楽



大漁旗のもと、にぎわった「ひな女祭り」

かおりちゃん(父忠志さん、母三千代さん)の四人でした。

野中合わせにおんぶされた「ひな女」は、三味線太鼓のハンヤ節に合わせ、祖母、祖父、親族らによって次々と披露されました。

むかしの

子どもの遊び

⑫

かくれんぼ

カクレンボウ  
(迷藏劇)



じゃんけんて負けた人が鬼になる。鬼は両手で目を塞ぎ、隠れた人からの合図があるまでは、目をあけないで待っている。「もういいかい」「まあいだよ」を何度か繰り返しているうち「もういいよ」の聲がかかる。鬼は目をあけて隠れた人を捜し、最初に見つかった人が次の鬼になる。

# 「どうぞご利用を…」 市役所前を 駐車場に開放

市内港町の旧南国殖産製氷工場（現在県有地）跡地は、漁業関係者、観光客、一般市民の駐車場として利用されていましたが、このほど、同地に阿久根中央青果市場が規模拡大のため新市場の建設に入り、駐車場として利用できなくなりました。

市ではここに変わる駐車場として、市役所前の市有地を駐車場に開放することになりました。

駐車場は図面のとおり場所です。どうぞご利用ください。

また、市役所の駐車場も土曜日の午後、日曜祭日は一般の駐車場として開放しています。



## お知らせ

行事催物など  
どしどしお寄せください

③1211内線214



### 保母試験の案内

八月七日と十日

鹿児島県保母試験が、鹿児島会場では八月七日から十日まで、大島会場では八月六日から八日まで行われます。

受験希望者は六月二十五日から七月七日までに、県庁児童家庭課へ申請書に写真、住民票などを添

えて提出してください。

試験科目は、社会福祉事業一般、児童福祉事業概論、児童心理学及び精神衛生、保健衛生学及び生理学、看護学及び実習、栄養学及び実習、保育理論、保育実習の八つです。

受験申請書は、六十内切手をはった返信用封筒を同封して、県庁児童家庭課（〒892 鹿児島市山下町一四一五〇）☎0992-8111 内線2321・2322へ申し込んでください。

### 簡易保険・年金資金

#### ■写真コンクールの募集

○テーマ 簡易保険、年金資金で建設された施設、又は、簡易保険、年金加入者福祉施設を題材とする作品。

○主催 郵政省簡易保険局

○募集期間 七月三十一日まで受け付けます。

○作品のサイズ カラー「四ツ切り」又は「スライド（35mm以上）」

白黒「四ツ切り」それぞれ一人五点以内

○入選発表 九月中旬  
詳しいことについては、阿久根郵便局☎0437まで。

### 社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

（敬称略）  
猶葉重記（高松） 本田又江（速矢） 久保務（大下） 森園ヒロ子（タイ園） 出口修一（中村） 児玉文一（新町）

★近隣地区阿久根会（田原克己会長）から、市民のために役立ててください、と、總會で募った十万余千四百二十五円が送られてきました。ありがとうございます。

### 給油所の

#### 日曜当番店

- 七月一日 田野典産（阿久根）
- 八日 瀬瀬石油
- 十五日 池上石油
- 二十二日 鹿児島丸善
- 二十九日 阿久根石油

### ☆篤志寄付

阿久根市青年団連絡協議会より青年祭バザーの資金を寄付していただきました。

川に「ゴミ」や空カンなどを投げすてないようにしましょう

河川愛護月間

5月21日～6月20日

昭和五十九年六月十日

鹿児島県阿久根市役所編集発行